

大阪府立大学における女性研究者支援事業

大阪府立大学では、平成 22 年度から 24 年度まで、文部科学省科学技術人材育成費の女性研究者支援モデル育成事業「元気！生き生き女性研究者・公立大学モデル」を実施し、平成 25 年度からは、本学の独自事業として継続実施している。平成 26 年 5 月現在の教員数に占める女性比率は 18.5%（工学・生命環境科学・理学系研究科では 6.4%（昨年度比 0.1%増））である。

【推進体制】

- ・ ステアリング委員会：理事長、理事、部局長で構成。全学的な協力体制の推進。
- ・ 運営委員会：全研究科の教員、総務人事課で構成。担当制で各事業を推進。
- ・ 女性研究者支援センター：事務局、相談窓口。

【平成 26 年度 事業内容】（実績は全て平成 26 年 4 月～9 月末現在）

① 環境整備

学内の推進体制を整えるとともに、研究者への直接支援などを行う。

- 学内保育施設「つばさ保育園」（定員 10 名）：通常保育利用者 9 名（子ども数 10 名）
- 研究支援員の配置：14 名の女性研究者に配置
- 女性の相談窓口：支援センター相談（9 件）、女性の健康相談（個別相談 13 件、ミニセミナー 53 名参加）、メンター相談（登録メンター 30 名）
- ベビーシッター割引券発行事業
- 全学的意識改革
 - ・ ロールモデル・セミナー、ロールモデル・カフェ（2 回開催、178 名参加）
 - ・ おおさか男女共同参画プラットフォーム（大阪府主宰）に参加 など

② 研究者育成

女性が研究者として活躍するキャリアパスを構築するとともに、理系を志す女子学生数を増やす。

- 研究のスキルアップ支援：外部資金獲得セミナー「科研費個別相談会」（4 名参加）
英語論文の書き方セミナー（12 月に実施予定）
- 理系女子大学院生チーム IRIS（アイリス）による裾野拡大事業
 - ・ 第 4 期生 28 名（工学研究科 22 名、生命環境科学研究科 3 名、理学系研究科 3 名）
 - ・ 子どもサイエンス・キャンパス：4 回開催、91 名参加
 - ・ オープンキャンパス「理系女子コーナー」：63 名参加（8 月）
 - ・ 「若者のためのライフデザイン支援事業」（大学コンソーシアム大阪）に採択（9 月）

以上の事業を進めていく中で、学内各部局との連携・協力体制を強化するのはもちろん、公立大学であることを活かして、大阪府や堺市をはじめとした地域との連携を図っている。

【連絡先】大阪府立大学 女性研究者支援センター

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1 (B16 棟) TEL・FAX : (072)254-9856
E-mail : w-support@ao.osakafu-u.ac.jp URL : <http://www.osakafu-u.ac.jp/genki/>

大阪府立大学 女性研究者支援事業

環境整備

推進体制を整えるとともに、研究者への直接支援などを行っています。

● 研究支援員の配置・在宅勤務支援

妊娠・出産・育児および介護で研究時間の確保が難しい研究者に対して、研究を補助する支援員を配置します。また、在宅勤務の支援として、webカメラ付きパソコンの貸与を行っています。

研究支援員の配置実績

年度	22	23	24	25	26 (9月末現在)	合計
配置先研究者数	6名	7名	6名	11名	14名	44名

● 女性の相談窓口

女性の研究者や職員、学生の困ったことや悩みの相談に対応しています。

	内容	実績 ※26年度は9月末現在
支援センター相談	研究者や研究者になろうとする女性の、研究を続けていく上で困っていること、悩んでいることの相談に対応しています。	平成22～26年度 66件
女性の健康相談	心や体の悩みについて、助産師等が個別相談やミニセミナーを行っています。	平成22～26年度 ・個別相談49件 ・ミニセミナー参加者277名
メンター相談	研究を続けていく上での色々な悩みを、先輩の研究者に相談できる仕組みを作っています。	平成25～26年度 ・メンター登録者30名 ・相談件数2件

● 全学的意識改革

女性研究者が研究を続けていくことへの理解を進めます。

・ロールモデル・セミナーやロールモデル・カフェの実施

ロールモデルとなる、社会で活躍している女性からお話を伺うことで、多様なキャリアパスを考える機会を提供します。

	回数	参加者総数
ロールモデル・セミナー	21回	1,459名
サイエンス・カフェ*	17回	136名

※平成26年度10月以降は「ロールモデル・カフェ」として開催予定



ロールモデル・セミナー

・ベビーシッター割引券発行事業

・子育て応援ピンバッジ・シール・キャンペーンの実施

・「会議は17時まで」キャンペーンの実施

・ロールモデル・バンクの構築

・大阪府「男女いきいき・元気宣言」事業者、堺市子育て応援団に登録

● 学内保育施設

「つばさ保育園」



つばさ保育園▶

研究者育成

女性が研究者として活躍するキャリアパスを構築するとともに、理系を志す女性の数を増やします。

● 研究のスキルアップ支援

英語論文の書き方セミナーや外部資金獲得セミナーなどの実施

● 女性研究者のネットワーク構築

● 理系女子大学院生チーム「IRIS(アイリス)」による小・中・高校生対象の裾野拡大事業の実施



IRISロゴマーク



IRIS任命式

		対象	実績
IRIS		工学・生命環境科学・理学系各研究科の女子大学院生	4期(平成23～26年度) 106人を任命
IRISの活動	子どもサイエンス・キャンパス	小・中学生	平成23～25年度 参加者 2,056人
	オープンキャンパス「めざせ!理系女子コーナー」	女子高校生・受験生	平成23～25年度 参加者 551人



オープンキャンパス▶



◀子どもサイエンス・キャンパス

組織・実施体制

